

平成 30 年度

教育委員会所管
主要な施策の成果に関する報告書
〔 多賀城市まちづくり報告書 〕
〔 (第五次多賀城市総合計画進捗状況報告) 〕

多賀城市教育委員会

多賀城市まちづくり報告書の構成

Ⅳ 多賀城市まちづくり報告書(第五次多賀城市総合計画進捗状況報告)

1 多賀城市まちづくり報告書(第五次多賀城市総合計画進捗状況報告)とは

2 全体の動向(施策別評価)

- (1) 施策別評価の概要
- (2) 成果指標全体のうごき(施策・基本事業別)
- (3) 政策別の成果指標全体のうごき(施策・基本事業合計)
- (4) 成果指標全体の目標達成度(施策・基本事業別)
- (5) 政策別の成果指標全体の目標達成度(施策・基本事業合計)
- (6) 市民の満足度と重要度

3 施策・基本事業の動向(成果指標等一覧)

(1) 施策・基本事業評価の見方

- | | |
|-----|-----------------------------|
| 政策1 | 安全で快適に暮らせるまち <安全・快適分野> |
| 政策2 | 元気で健やかに暮らせるまち <健康福祉分野> |
| 政策3 | 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち <教育文化分野> |
| 政策4 | 環境を大切にする心を育むまち <環境分野> |
| 政策5 | 集い つながり 活気あふれるまち<産業分野> |
| 政策6 | 心がかよう地域の絆を育むまち <地域経営分野> |
| 政策7 | 理解と信頼で進める自律したまち <行政経営分野> |

Ⅳ 多賀城市まちづくり報告書(第五次多賀城市総合計画進捗状況報告)

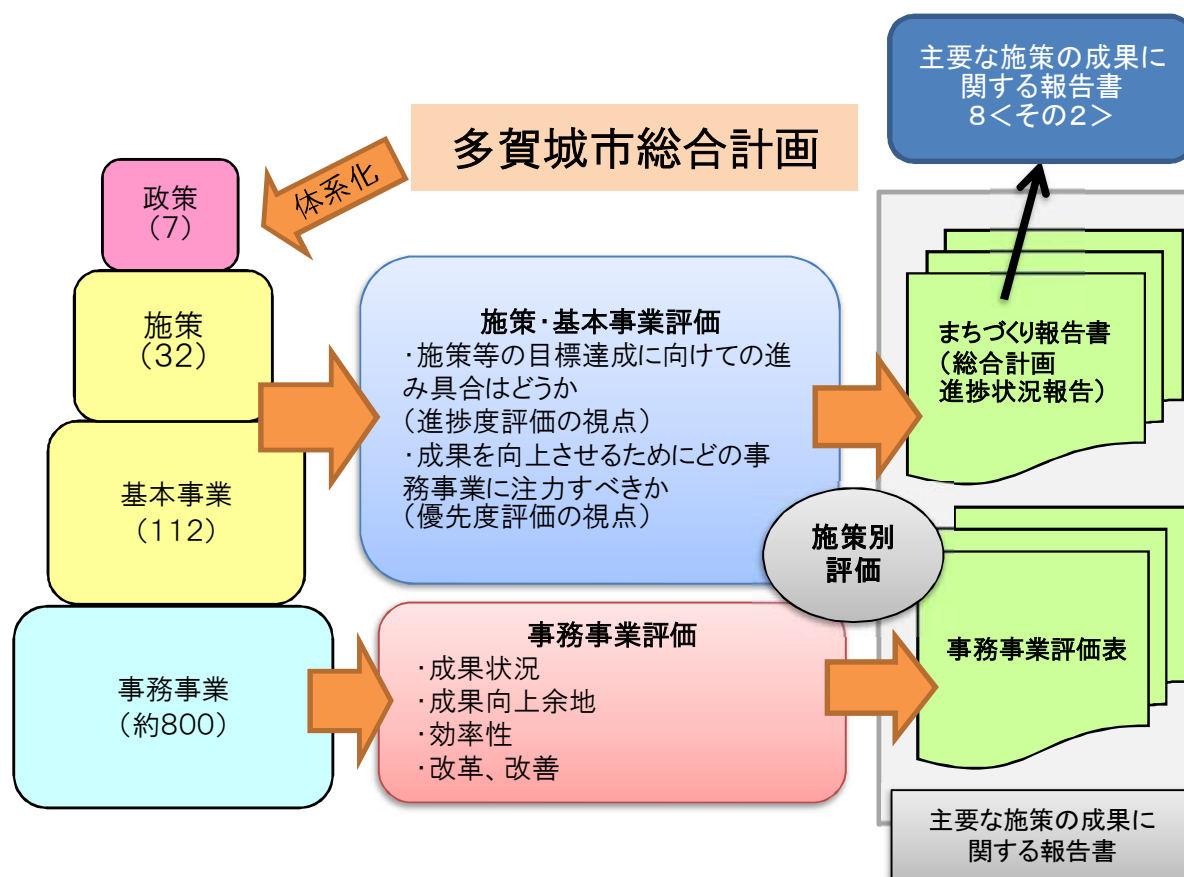
1 多賀城市まちづくり報告書(第五次多賀城市総合計画進捗状況報告)とは

多賀城市まちづくり報告書は、総合計画の目指すまちの姿の実現に向けて、まちづくりがどの程度進んでいるのか、事業の成果は上がっているのかといったことを示すため、平成30年度の決算を踏まえて、まちづくりの成果報告書として作成しています。

施策、基本事業における成果指標の推移を踏まえた成果状況等の結果を「施策別評価」として示すことで、総合計画の進捗状況等を明らかにしています。

また、複数年での指標の推移を確認することにより、指標のうごきが外的要因による突発的なものなのか、社会情勢の変化等による必然的なものなのかを見る目安となり、限られた行財政資源の「選択と集中」及び行政活動の「改革と改善」への活用が期待されます。

一般的には、事務事業の成果が向上することで基本事業の成果が向上し、基本事業の成果が向上することで施策の成果が向上する仕組みになっています。



3 施策・基本事業の動向(成果指標等一覧)

(1) 施策・基本事業評価の見方

政策 01 安全で快適に暮らせるまち

施策 01 災害対策の推進

施策の成果状況は、左側のページとなるよう調整しています。

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、行政区、事業者、行政	防災への取組によって、市民が安心して生活できます。

「対象」は施策や基本事業が働きかける対象(人やモノ)を示しています。

「意図」は施策や基本事業を展開することで「対象」をどのような状態にしたいのか、その目標とする姿を示しています。

【指標の区分】

目指す姿の実現具合を測るものさしとして設定している成果指標は、その特性により次の3つに区分しています。

成果：目指す姿の達成度を示すもの

社会：事業状況を指標化したものの、行政の関与よりも社会経済情勢等の影響が大きいもの

代替：成果の指標化が難しい場合に、代替指標として行政の活動量等を設定したもの

【取得方法】

市民アンケート：毎年定期的に市民3,000人を対象に行うアンケートにより取得する方法

職員アンケート：毎年定期的に職員を対象に行うアンケートにより取得する方法

業務取得：通常の業務内で取得する方法

課独自調査：この成果指標を取得するために各課等が行うアンケート等により取得する方法

【指標特性】

上がると良い：数値が上がると良い指標

下がると良い：数値が下がると良い指標

その他：数値の増減で良し悪しを判断できない指標

【後期基準値】

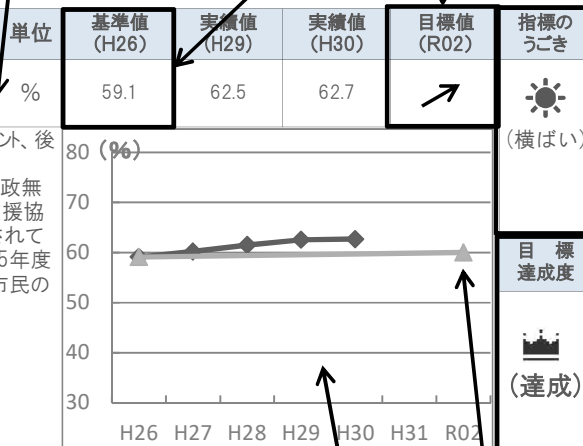
平成26年度としています。

【担当課】平成31年度担当部署です。

施策の成果状況と評価

まち(市民、地域、行政)の防災に対する備えが整っていると思う市民割合

① 成果 市民アンケート 上がると良い 交通防災課



(状況) 平成30年度は62.7%で、平成29年度より0.2ポイント、後期基準値より3.6ポイント増加しており、順調です。
(原因) 東日本大震災後の速やかな災害復旧や防災行政無線の整備、総合治水対策の推進、津波避難ビル等の支援協定締結、災害用備蓄品の整備など行政の取組が認知されていることに加え、地域の自主防災組織の充実や、平成25年度から毎年実施している総合防災訓練への参加などが、市民の安心感向上につながったものと考えられます。

【評価】

「(状況)」は、指標値の増減、指標のうごき、目標達成度に関する評価を記載しています。

「(原因)」は、状況に対する原因分析の内容を記載しています。

◆は、各年度ごとの実績値です。指標の実績値の推移をグラフで示しています。

▲は、令和2年度の目標値を示しており、グラフ上の最も過去の実績値から目標値への方向性をラインで示しています。

【掲載している施策・基本事業は、掲載例です。実際の内容とは異なります。】

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 防災意識の向上

基本事業 02 地域防災力の向上

基本事業 03 建物の耐震化の推進

基本事業 04 浸水対策の推進

基本事業 05 災害支援体制の推進

基本事業 06 津波対策の推進

基本事業の成果状況は、はじまりが右側のページとなるよう調整しています。

施策の基本事業の構成を示しています。

施策評価と見方は一緒です。

基本事業01 防災意識の向上					単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
災害への備えをしている世帯割合										
①	成果	市民アンケート	上がると良い	交通防災課	%	54.7	52.4	53.4	→	☁
評価	(状況)平成30年度は53.4%で、平成29年度より1.0ポイント増加しましたが、後期基準値より1.3ポイント減少しており、横ばいです。 (原因)年齢が高くなるほど災害から身を守る準備を行っている割合が高く、若い世代で割合が低くなっています。特に20歳代において、他の年齢層に比べ防災訓練への参加や非常用持出袋を用意している割合が低いことが、要因の1つです。									(横ばい)
										目標達成度 ■■■ (高)

基本事業02 地域防災力の向上					単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
災害時に地域で助け合いができると思う市民割合										
①	成果	市民アンケート	上がると良い	交通防災課	%	61.6	66	65.4	→	☀
評価	(状況)平成30年度は65.4%で、平成29年度より0.6ポイント減少していますが、後期基準値より3.8ポイント増加しており、順調です。 (原因)70歳以上の年代で高い数値となっており、日頃からの交流や震災時に助け合ったり、励ましあったりした実体験などが成果を向上させた大きな要因と考えられます。また、平成25年度から総合防災訓練を毎年実施しており、多くの市民が参加していることも要因の1つと考えられます。									(横ばい)
										目標達成度 ■■■ (達成)

【目標値】

目標値は、次の3つのパターンで表わしています。

数値：業務データから現状値を把握するもの

矢印：目標値を数値で表しにくいもの（アンケートによる把握等）と現状維持のもの

※アンケートについては、統計誤差の関係があるため、方向性を矢印で表し、数値で目標を設定していません。

ー：社会・経済情勢等の影響が大きい社会指標や目標設定がなじまない代替指標としているもの

【指標のうごき】

後期基準値（又は取得初年度）と比較した際の平成30年度の成果指標のうごきを、次の区分により示しています。

なお、アンケートから数値を取得しているものは、一定の統計誤差を考慮しています。

☀（向上）：数値（成果）が後期基準値（又は取得初年度）より向上しているもの

☁（横ばい）：数値（成果）が後期基準値（又は取得初年度）に比べ横ばい（微向上）又は横ばいであることが望ましいもの

☔（横ばい）：数値（成果）が後期基準値（又は取得初年度）に比べ横ばい（微低下）であるもの

☔（低下）：数値（成果）が後期基準値（又は取得初年度）に比べ低下しているもの

ー：平成30年度に実績値がないもの、平成26～29年度の実績値がないもの又は指標特性が「その他」のもの

【目標達成度】

成果指標の令和2年度の後期目標値への達成度合いを示しています。

☀（達成）：目標値を既に達成しているもの

■■■（高）：目標年度前に目標値を達成する可能性が高いもの

■■■（中）：目標年度で目標値を達成する可能性が高いもの

■■■（低）：目標年度で目標値を達成することが難しいもの

ー：目標値がないもの又は指標特性が「その他」のもの

政策3

歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

＜教育文化分野＞

政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 01 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
幼児、18歳以下の青少年とその保護者、地域住民、学校	学校・家庭・地域が連携し、子どもたちが生き生きと安全に暮らしています。

施策の成果状況と評価

指標①	学校・家庭・地域が連携し、地域で子どもが健全に育成されていると思う市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき																									
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	43.7	48.8	48.9	➔	☀ (向上)																									
評価	（状況）平成30年度は48.9%で、平成29年度より0.1ポイント、後期基準値より5.2ポイント増加しており、順調です。 （原因）学校・家庭・地域が連携した様々な協働教育の取組が浸透してきたことが要因と考えられます。					<table><caption>実績値と目標値の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th><th>目標値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>43.7</td><td>43.7</td></tr><tr><td>H27</td><td>48.8</td><td>43.7</td></tr><tr><td>H28</td><td>48.9</td><td>43.7</td></tr><tr><td>H29</td><td>48.9</td><td>43.7</td></tr><tr><td>H30</td><td>48.9</td><td>43.7</td></tr><tr><td>H31</td><td>48.9</td><td>43.7</td></tr><tr><td>R02</td><td>48.9</td><td>43.7</td></tr></tbody></table>					年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H26	43.7	43.7	H27	48.8	43.7	H28	48.9	43.7	H29	48.9	43.7	H30	48.9	43.7	H31	48.9	43.7	R02	48.9	43.7	目標 達成度
						年度	実績値 (%)	目標値 (%)																											
H26	43.7	43.7																																	
H27	48.8	43.7																																	
H28	48.9	43.7																																	
H29	48.9	43.7																																	
H30	48.9	43.7																																	
H31	48.9	43.7																																	
R02	48.9	43.7																																	
						■■■ (高)																													

□基本事業の成果状況と評価

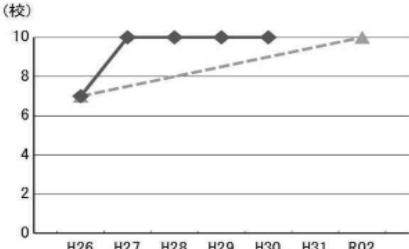
基本事業 01 学校・地域が連携した子どもたちの育成

基本事業 02 放課後等の安全・安心な居場所づくり

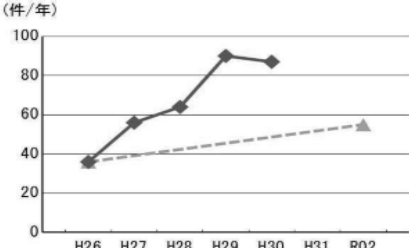
基本事業 03 家庭教育力の向上

基本事業 04 青少年の健全育成

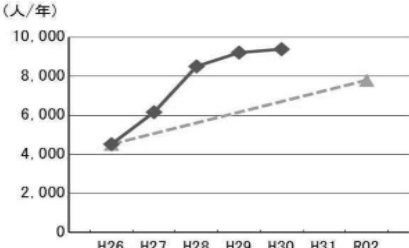
基本事業01 学校・地域が連携した子どもたちの育成

指標①	学校支援地域本部の設立により地域の力を活用している学校数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	校	7	10	10	10	
評価	(状況) 平成30年度も10校で、市内小中学校全てにおいて事業を実施しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 地域コーディネーター及び担当教職員との年数回の会議により、子どもたちの教育環境の充実のため地域の力が必要であるという共通認識が図られ、新たなボランティアの参加に繋がったことが要因です。									(向上)
										目標達成度 (達成)

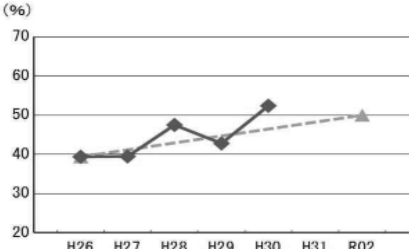
基本事業01 学校・地域が連携した子どもたちの育成

指標②	学校支援事業件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	件/年	36	90	87	55	
評価	(状況) 平成30年度は87件で、平成29年度より3件減少していますが、後期基準値より51件増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 学校の状況を確認しながら、子どもたちのよりよい教育環境構築のため、学校・家庭・地域が連携した幅広い事業を実施しています。また取り組んだ事業について評価・検証し、効果の高い事例を各学校で共有しながら新たな取組を増やしていることが要因と考えられます。									(向上)
										目標達成度 (達成)

基本事業01 学校・地域が連携した子どもたちの育成

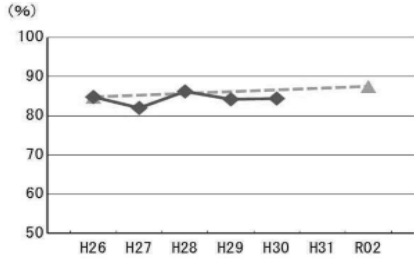
指標③	学校・地域が連携する活動の延べ協力者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	4,525	9,211	9,386	7,800	
評価	(状況) 平成30年度は9,386人で、平成29年度より175人、後期基準値より4,861人増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 放課後子ども教室は平成29年度より260人減少していますが、熱中症対策として事業を中止したことによるものであり、学校支援地域本部事業は、平成29年度より435人増加しており、事業が定着してきたことが要因と考えられます。									(向上)
										目標達成度 (達成)

基本事業02 放課後等の安全・安心な居場所づくり

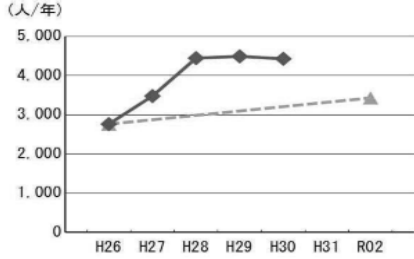
指標①	放課後の安全な子どもの居場所・遊び場があると思う保護者割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	39.4	42.8	52.4	→	
評価	小学生の子どもを持つ保護者が対象 (状況) 平成30年度は52.4%で、平成29年度より9.6ポイント、後期基準値より13.0ポイント増加しており、後期目標を達成しています。 (原因) 放課後子ども教室の継続的な取組により、子ども達の安全な居場所として広く認知されてきたことが要因と考えられます。									(向上)
										目標達成度 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 家庭教育力の向上

指標①	基本的生活習慣の自分の子どもの実践度（早寝、早起きほか）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	%	84.8	84.2	84.4	➡	
	全国学力・学習状況調査による指標です。									(横ばい)
評価	(状況) 平成30年度は84.4%で、平成29年度より0.2ポイントの増加、後期基準値より0.4ポイントの減少していますが、横ばいです。 (原因) 保護者が集まる学校行事の機会を利用して、子育てに関する講座や研修会を開催し、家庭教育の重要性の理解及び実践を働きかけていることが、水準の維持に繋がっている要因と考えられます。									目標達成度 (中)

基本事業04 青少年の健全育成

指標①	青少年育成活動事業の延べ参加者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	2,763	4,489	4,427	3,430	
										(向上)
評価	(状況) 平成30年度は4,427人で、平成29年度より62人減少しましたが、後期基準値より1,664人増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 猛暑による熱中症対策のため放課後子ども教室が中止になったことが、平成29年度より減少したことの要因と考えられます。ただし、ジュニアリーダー活動の延人数は、同年度より1.4倍に増えています。活動を学校や地域に広く周知し知名度を上げるとともに、育成強化を行い、家庭、地域、学校等で活動できるよう支援したことで派遣回数が増えたことが要因と考えられます。									目標達成度 (達成)

政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 02 学校教育の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
児童・生徒、小中学生を持つ保護者、市内の公立学校に勤務する教職員、地域住民	児童・生徒が充実した学校生活を送っています。

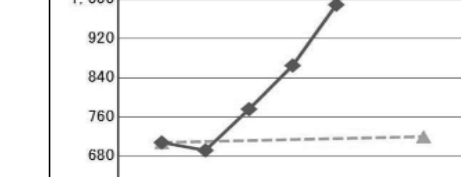
施策の成果状況と評価

指標①	学校生活が楽しいと思う児童割合（小学生）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	学校教育課	%	88.7	89.8	91.4	➔	☀ (横ばい)
評価	（状況）平成30年度は91.4%で、後期基準値より2.7ポイント、平成29年度より1.6ポイント増加しており、順調です。 （原因）学校に行きたいと思う割合、勉強が楽しいと思う割合及び仲の良い友達がいる割合ともに、4年生で下がって6年生で上がる傾向が見られるものの、仲が良い友達がいる割合が対象学年全てで98%以上となっています。また、勉強が楽しいと思う割合が対象学年全てで平成29年度より上昇していることが要因の1つと考えられます。									目標 達成度
										☑ (達成)
指標②	学校生活が楽しいと思う生徒割合（中学生）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	学校教育課	%	72.7	70.5	76.2	➔	☀ (向上)
評価	（状況）平成30年度は76.2%で、後期基準値より3.5ポイント、平成29年度より5.7ポイント増加しており、順調です。 （原因）仲の良い友達がいる割合が98.5%と高く、勉強が楽しいと思う割合が平成30年度が60.3%で、平成29年度より13.2ポイント上昇していることが大きな要因の1つと考えられます。									目標 達成度
										☑ (達成)

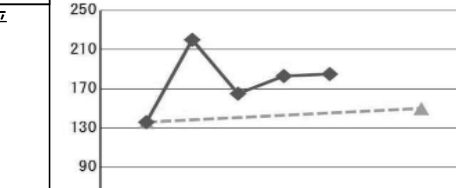
□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01	郷土愛を育む教育の推進
基本事業 02	教育の質の向上
基本事業 03	健康づくりと食育の充実
基本事業 04	教育相談体制の充実
基本事業 05	安全・安心な教育環境の整備
基本事業 06	新たな時代に対応するための取組推進

基本事業01 郷土愛を育む教育の推進

指標 ①	多賀城の歴史・文化・まちについて学ぶ小学校3年生以上の授業数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき																
	代替	業務取得	上がると良い	学校教育課	時数/年	708	865	989	720	 (向上)																
評価	(状況) 平成30年度は989時数/年で、後期基準値より281時数/年、平成29年度より124時数/年、増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 地域の人材や素材を活用しながら、地域と連携した学習を積極的に取り入れ、推進したことが要因の1つです。				(時数/年)  <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>時数/年</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>680</td></tr><tr><td>H27</td><td>680</td></tr><tr><td>H28</td><td>760</td></tr><tr><td>H29</td><td>865</td></tr><tr><td>H30</td><td>989</td></tr><tr><td>H31</td><td>720</td></tr><tr><td>R02</td><td>720</td></tr></tbody></table>						年度	時数/年	H26	680	H27	680	H28	760	H29	865	H30	989	H31	720	R02	720
					年度	時数/年																				
H26	680																									
H27	680																									
H28	760																									
H29	865																									
H30	989																									
H31	720																									
R02	720																									

基本事業01 郷土愛を育む教育の推進

指標②	多賀城の歴史・文化・まちについて学ぶ中学校授業数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき															
	代替	業務取得	上がると良い	学校教育課	時数/年	136	183	185	150	 (横ばい)															
評価	(状況) 平成30年度は185時数/年で、後期基準値より49時数/年、平成29年度より2時数/年、増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 職場体験学習など地域に密着した学習を年度当初の計画に盛り込み、学習の機会を確保したことが要因の1つです。				(時数/年)  <table border="1"><caption>時数/年</caption><thead><tr><th>年度</th><th>時数/年</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>136</td></tr><tr><td>H27</td><td>210</td></tr><tr><td>H28</td><td>170</td></tr><tr><td>H29</td><td>183</td></tr><tr><td>H30</td><td>185</td></tr><tr><td>H31</td><td>150</td></tr><tr><td>R02</td><td>150</td></tr></tbody></table> 目標達成度  (達成)					年度	時数/年	H26	136	H27	210	H28	170	H29	183	H30	185	H31	150	R02	150
					年度	時数/年																			
H26	136																								
H27	210																								
H28	170																								
H29	183																								
H30	185																								
H31	150																								
R02	150																								

基本事業02 教育の質の向上

指標①	授業がわかると答える児童割合（小学生）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき																									
	成果	課独自調査	上がると良い	学校教育課	%	86.6	91.1	92.5	➔																										
評価	（状況）平成30年度は92.5%で、後期基準値より5.9ポイント増加しており、平成29年度より1.4ポイント増加しており、順調です。 （原因）授業の内容がわかると答えた6年生の割合が94.8%と高く、各校の授業内容の充実と共に、規則正しい生活や落ち着いた学校生活を送れる環境づくりの持続的な取組みなどが、要因の1つと考えられます。				(%) <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>86.6</td><td>92.5</td></tr><tr><td>H27</td><td>86.6</td><td>92.5</td></tr><tr><td>H28</td><td>91.1</td><td>92.5</td></tr><tr><td>H29</td><td>91.1</td><td>92.5</td></tr><tr><td>H30</td><td>92.5</td><td>92.5</td></tr><tr><td>H31</td><td>92.5</td><td>92.5</td></tr><tr><td>R02</td><td>92.5</td><td>92.5</td></tr></tbody></table>					年度	実績値	目標値	H26	86.6	92.5	H27	86.6	92.5	H28	91.1	92.5	H29	91.1	92.5	H30	92.5	92.5	H31	92.5	92.5	R02	92.5	92.5		（横ばい）
					年度	実績値	目標値																												
H26	86.6	92.5																																	
H27	86.6	92.5																																	
H28	91.1	92.5																																	
H29	91.1	92.5																																	
H30	92.5	92.5																																	
H31	92.5	92.5																																	
R02	92.5	92.5																																	
										（達成）																									

基本事業02 教育の質の向上

指標②	授業がわかると答える生徒割合（中学生）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき																								
	成果	課独自調査	上がると良い	学校教育課	%	66.8	76	75.6	➡																									
評価	（状況）平成30年度は75.6%で、平成29年度よりも0.4ポイント減少していますが、後期基準値より8.8ポイント増加しており、順調です。 （原因）各校の授業内容の充実と共に、規則正しい生活や落ち着いた学校生活を送れる環境づくりの持続的な取組みなどが、要因の1つと考えられます。				(%) <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>66.8</td><td>75.6</td></tr><tr><td>H27</td><td>76</td><td>75.6</td></tr><tr><td>H28</td><td>76</td><td>75.6</td></tr><tr><td>H29</td><td>75.6</td><td>75.6</td></tr><tr><td>H30</td><td>75.6</td><td>75.6</td></tr><tr><td>H31</td><td>75.6</td><td>75.6</td></tr><tr><td>R02</td><td>75.6</td><td>75.6</td></tr></tbody></table>						年度	実績値	目標値	H26	66.8	75.6	H27	76	75.6	H28	76	75.6	H29	75.6	75.6	H30	75.6	75.6	H31	75.6	75.6	R02	75.6	75.6
					年度	実績値	目標値																											
H26	66.8	75.6																																
H27	76	75.6																																
H28	76	75.6																																
H29	75.6	75.6																																
H30	75.6	75.6																																
H31	75.6	75.6																																
R02	75.6	75.6																																
					（横ばい） 目標達成度 （達成）																													

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 健康づくりと食育の充実

指標①	基本的生活習慣を身につけている児童割合（小学生）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	学校教育課	%	86.1	84.6	86.9	→	
評価	(状況) 平成30年度は86.9%で、後期基準値より0.8ポイント、平成29年度より2.3ポイント増加しており、横ばいです。 (原因) 朝食を毎日食べている割合が94.7%、毎日同じくらいの時刻に起きている割合が89.8%で、他の2つの質問項目と比較すると高く、家の人と学校での出来事について話をする割合が、平成29年度より7.6ポイント上昇していることが、要因の1つと考えられます。									(横ばい)
										目標達成度 ■■■ (高)

基本事業03 健康づくりと食育の充実

指標②	基本的生活習慣を身につけている生徒割合（中学生）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	学校教育課	%	83.4	83.8	81.9	→	
評価	(状況) 平成30年度は81.9%で、後期基準値より1.5ポイント、平成29年度より1.9ポイント減少しており、横ばいです。 (原因) 毎日同じくらいの時刻に寝ている割合が70.7%、家の人と学校での出来事について話をする割合が73.8%で、他の2つの質問項目と比較すると低いことが、要因の1つと考えられます。									(横ばい)
										目標達成度 ■■ (中)

基本事業03 健康づくりと食育の充実

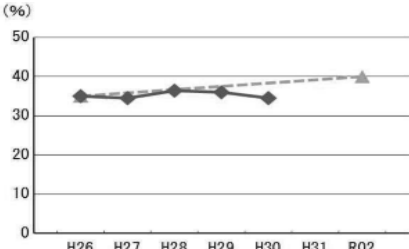
指標③	学校給食残食率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	学校教育課	%	17.2	17	17.2	18	
評価	(状況) 平成30年度は17.2%で、後期基準値と同じで平成29年度より0.2ポイント増加していますが、後期目標値を達成しています。 (原因) 給食センターに栄養教諭、栄養士が配置され、各学校での食育に関する指導が充実しています。また、「食育展」など一般市民に食育の重要性を啓発する取組も行っていることから、家庭でも意識が高まり、「残さず食べる」考えが深い理解を得られていることが要因の1つと考えられます。									(横ばい)
										目標達成度 ■■■ (達成)

基本事業04 教育相談体制の充実

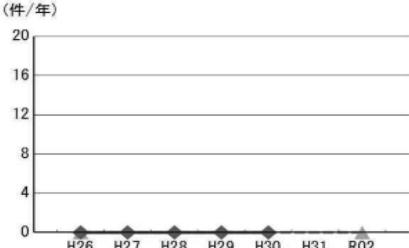
指標①	不登校出現率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	学校教育課	%	1.81	2.11	2.27	1.3	
評価	(状況) 平成30年度は2.27%で、後期基準値より0.46ポイント、平成29年度より0.16ポイント増加しています。 (原因) 各学校におけるきめ細かい対応やスクールソーシャルワーカー及びスクールカウンセラーとの連携による取組により、一定の効果は認められ、再登校に繋がっています。しかしながら、不登校の要因が学校のみならず、家庭環境などが複雑に絡み合っており、不登校解消に多くの時間を要していること及び中学生の不登校率が5.36%と高いことが、要因の1つと考えられます。									(横ばい)
										目標達成度 ■■ (中)

□基本事業の成果状況と評価

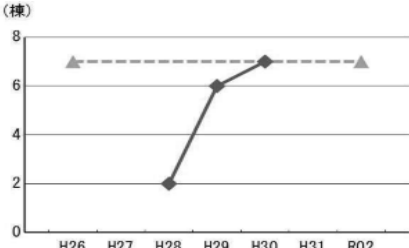
基本事業04 教育相談体制の充実

指標②	再登校率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	学校教育課	%	35	36	34.5	40	(横ばい)
評価	(状況) 平成30年度は34.5%で、平成29年度より1.5ポイント、後期基準値より0.5ポイント減少しており、横ばいです。 (原因) 不登校児童生徒の支援体制を充実し、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーとの連携による取り組みなどを積極的に行っていますが、不登校の要因が学校のみならず、家庭環境などが複雑に絡み合っていることが要因のひとつと考えられます。									目標達成度 (中)

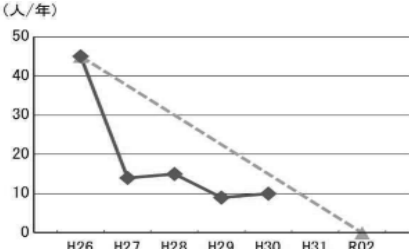
基本事業05 安全・安心な教育環境の整備

指標①	授業及び学校生活に支障をきたした不具合件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	教育総務課	件/年	0	0	0	0	(横ばい)
評価	(状況) 平成30年度も0件で、後期基準値を維持しており、後期目標値も達成しています。 (原因) 学校施設の維持管理に当たっては、定期的に施設設備の点検を行い不具合発生前に修繕箇所を手当てするなど、きめ細かい対応をしたことが、要因と考えられます。									目標達成度 (達成)

基本事業05 安全・安心な教育環境の整備

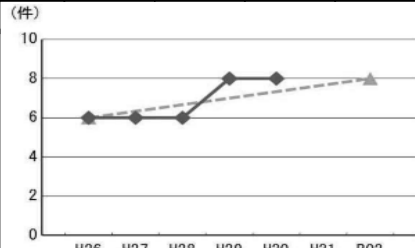
指標②	学校施設の改修棟数（累計）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	教育総務課	棟	7	6	7	7	(向上)
評価	目標値は平成28年度を初年度とする5年間の累計(実績値も同様の考え方) (状況) 平成30年度は、多賀城八幡小学校のエレベータ大規模改造工事を実施しました。大規模改造以外では、多賀城東小学校、山王小学校、多賀城八幡小学校、多賀城中学校及び東豊中学校の保健室にエアコンを設置しています。 (原因) 学習環境の充実のため、必要となる改修を計画的に実施していることが要因です。									目標達成度 (中)

基本事業05 安全・安心な教育環境の整備

指標③	登下校時の事故・事件に巻き込まれた児童・生徒数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	学校教育課	人/年	45	9	10	0	(横ばい)
評価	(状況) 平成30年度は10人で、後期基準値より35人減少し、平成29年度より1人増加しています。 (原因) 全国で凶悪事件が発生する中、関係機関との連携により、素早い対応を行っています。児童生徒への啓発活動や学校独自の取組、地域住民の協力による安全・安心な環境づくりが進んでいることが、数値を低い水準に抑えられている要因の1つと考えられます。									目標達成度 (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業06 新たな時代に対応するための取組推進

新たな時代への教育取組推進数（累計）					単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき																								
指標 ①	代替	業務取得	その他	学校教育課	件	6	8	8	8																									
	目標値は令和2年度までの累計(実績値も同様の考え方)				(件)																													
評価	（状況）平成30年度は8件で、後期基準値より2件増加し、平成29年度と同じですが、後期目標値を達成しています。 （原因）平成30年度は、学校適応アセスメント検査事業、ICT教育推進事業、小学校理科支援事業、学習個別支援事業及び特別支援教育支援事業は、取組を継続しています。平成29年度に中学校生活指導支援事業と心の教室相談事業を総合事業化して子どもの心のケアハウス運営事業も引き続き実施しており、学校図書館補助員配置事業も平成28年度から市立図書館の事業として再編しています。				 <table><caption>実績値と目標値の推移</caption><tr><th>年度</th><th>実績値 (件)</th><th>目標値 (件)</th></tr><tr><td>H26</td><td>6</td><td>6</td></tr><tr><td>H27</td><td>6</td><td>6</td></tr><tr><td>H28</td><td>6</td><td>6</td></tr><tr><td>H29</td><td>8</td><td>7</td></tr><tr><td>H30</td><td>8</td><td>7</td></tr><tr><td>H31</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R02</td><td>8</td><td>8</td></tr></table>					年度	実績値 (件)	目標値 (件)	H26	6	6	H27	6	6	H28	6	6	H29	8	7	H30	8	7	H31			R02	8	8	---
					年度	実績値 (件)	目標値 (件)																											
H26	6	6																																
H27	6	6																																
H28	6	6																																
H29	8	7																																
H30	8	7																																
H31																																		
R02	8	8																																
										目標達成度	---																							

政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

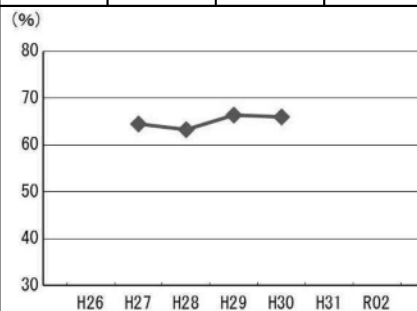
施策 03 生涯学習の推進

施策のプロフィール

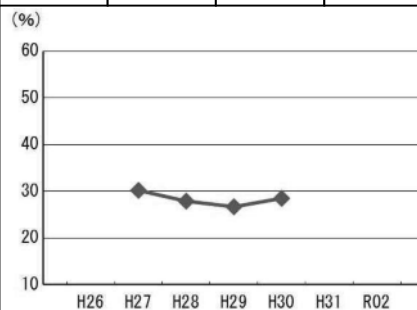
施策の対象	施策の意図
市民（学習をする立場、学習成果を還元する立場）	市民が知性と豊かな心を育むために、生涯学習活動を行っています。 市民が生涯学習の成果を地域や社会に生かしています。

施策の成果状況と評価

指標	生涯学習を行っている市民割合	単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
①	成果 市民アンケート 上がると良い 生涯学習課 平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。	%	—	66.4	66	➔	☀ (横ばい)
評価	（状況）平成30年度は66.0%で、平成29年度より0.4%ポイントの減少、平成27年度の64.5%より1.5%ポイントの増加で、横ばいです。市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 （原因）健康・スポーツや芸術（音楽や美術など）の活動をしている人の割合がそれぞれ30%を超えており、そのことが指標値の高水準の維持に繋がっていると考えられます。						目標 達成度 ■ (中)



指標	生涯学習の成果を地域や社会に生かしている市民割合	単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
②	成果 市民アンケート 上がると良い 生涯学習課 平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。	%	—	26.7	28.5	➔	☁ (横ばい)
評価	（状況）平成30年度は28.5%で、平成29年度より1.8%ポイントの増加、平成27年度の30.2%より1.7%ポイントの減少で、横ばいです。市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 （原因）年齢を問わず、生涯学習で身に付けた知識や技術を地域や社会のために生かす機会が少ないことなどが要因と考えられます。						目標 達成度 ■ (中)



□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 学習機会の充実

基本事業 02 市民創造型生涯学習の推進

基本事業 03 芸術文化の振興

基本事業 04 生涯学習施設の運営

基本事業 05 市立図書館（文化交流拠点中核施設）の運営

基本事業01 学習機会の充実

指標	単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
①	講座・教室メニュー数	77	288	293	90	
評価	代替	業務取得	上がると良い	生涯学習課		
評価	(状況) 平成30年度は293講座で、平成29年度より5講座、後期基準値より216講座増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 平成29年度、平成30年度ともに170を超える講座等を開催するなど、多賀城駅前に移転・開館した市立図書館において多くの講座等を開催していることが、大きく増加した要因です。					(講座/年) 目 標 達成度 (達成)

基本事業01 学習機会の充実

指標	単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
②	生涯学習講座等の延べ受講者数	7,254	11,675	16,099	7,600	
評価	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課		
評価	年間延べ人数です。 (状況) 平成30年度は16,099人で、平成29年度より4,424人、後期基準値より8,845人増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 市立図書館での講座等の開催数の増加に伴い、参加者が大きく増加しています。市民ニーズに合致している講座等を開催したことが要因と考えられます。					(人/年) 目 標 達成度 (達成)

基本事業01 学習機会の充実

指標	単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
③	学習機会が充足していると思う市民割合	53.2	45	48.1	→	
評価	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課		
評価	(状況) 平成30年度は48.1%で、平成29年度より3.1ポイント増加していますが、後期基準値より5.1ポイント減少しています。 (原因) 後期基準値と比較し、平成27年度に10ポイント近く減少していますが、これは「生涯学習を行っている市民割合」のアンケート指標の取り方を変更したことが要因と考えられ、それ以降は微増傾向にあると考えられます。					(%) 目 標 達成度 (低下) (中)

基本事業02 市民創造型生涯学習の推進

指標	単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
①	市民主体の学習サークル数（社会教育登録団体）	184	212	211	200	
評価	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課		
評価	(状況) 平成30年度は211団体で、平成29年度より1団体減少していますが、後期基準値より27団体増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 後期基準値と比較して団体数が増加したのは、既存団体の多くが登録を更新するとともに、新規団体の上乗せがあったことが要因です。一方、高齢化に伴う団体の解散、合併等があることが、近年、横ばいとなっている要因と考えられます。					(団体) 目 標 達成度 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

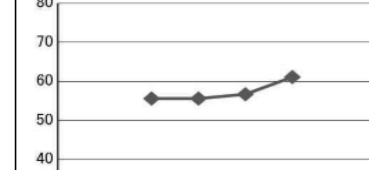
基本事業02 市民創造型生涯学習の推進

指標②	市民主体の学習サークル登録者数（社会教育登録団体）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき															
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人	3,604	5,484	5,679	3,900	☀️ (向上)															
評価	（状況）平成30年度は5,679人で、平成29年度より195人、後期基準値より2,075人増加しており、後期目標値を達成しています。 （原因）登録団体数は平成29年度と比較し1団体減少していますが、個々の団体レベルでは登録者が増えていることが要因と考えられます。活動が活発化している団体と、高齢化に伴い解散等を行う団体があります。				(人) <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>登録者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>3,604</td></tr><tr><td>H27</td><td>5,484</td></tr><tr><td>H28</td><td>5,484</td></tr><tr><td>H29</td><td>5,679</td></tr><tr><td>H30</td><td>5,679</td></tr><tr><td>H31</td><td>3,900</td></tr><tr><td>R02</td><td>3,900</td></tr></tbody></table> 🏰 (達成)					年度	登録者数	H26	3,604	H27	5,484	H28	5,484	H29	5,679	H30	5,679	H31	3,900	R02	3,900
					年度	登録者数																			
H26	3,604																								
H27	5,484																								
H28	5,484																								
H29	5,679																								
H30	5,679																								
H31	3,900																								
R02	3,900																								
目 標 達成度																									

基本事業03 芸術文化の振興

指標 ①	文化センター等での芸術文化の鑑賞者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき																								
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	76,812	134,274	132,834	85,000																									
評 価	（状況）平成30年度は132,834人で、平成29年度より1,440人減少しましたが、後期基準値より56,022人増加しており、後期目標値を達成しています。 （原因）平成29年度と比較して、1,440人の減少となりましたが、鑑賞者数が大きく増加した平成29年度と同程度の値が維持されています。平成29年度、平成30年度ともに、後期基準値と比較して演奏会や演劇の鑑賞者数が大きく増加していることが要因です。				(人/年) <table border="1"><caption>鑑賞者数推移表</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>76,812</td><td>-</td></tr><tr><td>H27</td><td>-</td><td>134,274</td></tr><tr><td>H28</td><td>-</td><td>132,834</td></tr><tr><td>H29</td><td>-</td><td>132,834</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td><td>132,834</td></tr><tr><td>H31</td><td>-</td><td>85,000</td></tr><tr><td>R02</td><td>85,000</td><td>-</td></tr></tbody></table>					年度	基準値	実績値	H26	76,812	-	H27	-	134,274	H28	-	132,834	H29	-	132,834	H30	-	132,834	H31	-	85,000	R02	85,000	-	☀ (向上) 🎯 目標 達成度 🏰 (達成)
					年度	基準値	実績値																											
H26	76,812	-																																
H27	-	134,274																																
H28	-	132,834																																
H29	-	132,834																																
H30	-	132,834																																
H31	-	85,000																																
R02	85,000	-																																

基本事業03 芸術文化の振興

指標②	芸術文化鑑賞をしている市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき																
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	—	56.7	61.1	➔																	
評価	平成27年度から取得を開始した指標です。				(%)						☀ (向上)															
	(状況)平成30年度は61.1%で、平成29年度より4.4ポイント、平成27年度の55.6%より5.5ポイント増加しており、順調です。 (原因)市民会館において演奏会や演劇を鑑賞する市民が増えたことが要因と考えられます。また、平成30年度は、東北歴史博物館において「東大寺と東北～復興を支えた人々の祈り」が開催され、多くの市民が鑑賞したことも要因と考えられます。				 <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>55.6</td></tr><tr><td>H27</td><td>55.6</td></tr><tr><td>H28</td><td>55.6</td></tr><tr><td>H29</td><td>56.7</td></tr><tr><td>H30</td><td>61.1</td></tr><tr><td>H31</td><td>61.1</td></tr><tr><td>R02</td><td>61.1</td></tr></tbody></table>						年度	実績値	H26	55.6	H27	55.6	H28	55.6	H29	56.7	H30	61.1	H31	61.1	R02	61.1
年度	実績値																									
H26	55.6																									
H27	55.6																									
H28	55.6																									
H29	56.7																									
H30	61.1																									
H31	61.1																									
R02	61.1																									

基本事業04 生涯学習施設の運営

指標①	生涯学習施設の利用者数（図書館を除く）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき														
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	260,467	337,873	344,113	355,000	☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (高)														
評価	（状況）平成30年度は344,113人で、平成29年度より6,240人、後期基準値より83,646人増加しており、順調です。 （原因）市民会館における芸術文化の鑑賞者数のほか、中央公民館の利用者が大きく増加していることが要因です。平成30年度は、市民会館において6,456人の増加となっており、平成29年度に続き高い値が維持されています。				(人/年) <table><thead><tr><th>年度</th><th>利用者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>260,467</td></tr><tr><td>H27</td><td>280,000</td></tr><tr><td>H28</td><td>250,000</td></tr><tr><td>H29</td><td>340,000</td></tr><tr><td>H30</td><td>345,000</td></tr><tr><td>H31</td><td>350,000</td></tr><tr><td>R02</td><td>355,000</td></tr></tbody></table>				年度		利用者数	H26	260,467	H27	280,000	H28	250,000	H29	340,000	H30	345,000	H31	350,000	R02
					年度	利用者数																		
H26	260,467																							
H27	280,000																							
H28	250,000																							
H29	340,000																							
H30	345,000																							
H31	350,000																							
R02	355,000																							

□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 生涯学習施設の運営

指標②	生涯学習施設運営・管理上の不具合・支障件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生涯学習課	件/年	0	4	0	0	
評価	(状況) 平成30年度は0件で、平成29年度より4件減少し、後期目標値を達成しています。 (原因) 経年劣化による故障等は発生していますが、日々の検査と修繕により適切に対応していることが要因と考えられます。									(横ばい)
										目標達成度
										(達成)

基本事業05 市立図書館（文化交流拠点中核施設）の運営

指標①	市立図書館の市民利用率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	%	10	17.2	16.5	50	
評価	市民利用率とは、人口から実図書貸出人数の割合を算出した数値 (状況) 平成30年度は16.5%で、平成29年度より0.7ポイント減少しましたが、後期基準値より6.5ポイント増加しています。 (原因) 開館時間の延長や365日開館などのサービス拡充により利便性が高まったことが、要因と考えられます。一方で、実質的な3年目を迎えた平成30年度は、貸出利用者がやや安定化してきた傾向があります。また、滞在型図書館であることから、蔵書の貸出を受けずに館内で閲覧している利用者も多くいると考えられます。									(向上)
										目標達成度
										(低)

基本事業05 市立図書館（文化交流拠点中核施設）の運営

指標②	市立図書館の登録者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人	24,835	70,886	78,929	40,000	
評価	(状況) 平成30年度は78,929人で、平成29年度より8,043人、後期基準値より54,094人増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 仙石線多賀城駅前に移転し開館した図書館は、指定管理者による管理運営への移行とともに、開館時間の延長や365日開館などのサービス拡大に伴い、市内外問わず利用者が利用しやすい環境となったことが要因と考えられます。特に傾向としては、児童・生徒・一般・団体等の中でも、一般層が平成29年度より9,154人増加したことなどが大きな要因です。									(向上)
										目標達成度
										(達成)

基本事業05 市立図書館（文化交流拠点中核施設）の運営

指標③	市立図書館の利用者満足度				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	生涯学習課	%	—	80.3	80.3	→	
評価	利用者アンケートの結果(年2回 9月と3月) (状況) 平成30年度は80.3%で、平成29年度と同値です。 (原因) 9月と3月に2回実施した利用者アンケートにおいて、「大いに満足」及び「満足」の合計が8割あり、高い水準を保っています。働く世代の利用率が高く、市民に次いで仙台近郊地からの利用者も多いことから、交通の利便性の良さ等も影響していることが要因と考えられます。									(横ばい)
										目標達成度
										(達成)

政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 04 市民スポーツ社会の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	多賀城市型の市民スポーツ社会が進展し、多くの市民がスポーツに親しんでいます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	週1回以上スポーツ・運動をしている市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	36.5	40.6	39.5	➔
評価	(状況) 平成30年度は39.5%で、平成29年度より1.1ポイント減少していますが、後期基準値より3.0ポイント増加しています。市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 (原因) スポーツ施設の適正な管理・運営及びスポーツの大会や教室の開催により、安定した環境と機会を提供できていることが要因と考えられます。								 (横ばい)
									目標 達成度 (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 スポーツ機会の充実

基本事業 02 社会体育施設等の施設環境の充実

基本事業01 スポーツ機会の充実

指標	スポーツ等の教室・大会数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	回/年	87	136	159	95	
評価	(状況) 平成30年度は159回で、平成29年度より23回、後期基準値より72回増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 多賀城市民スポーツクラブでは、特に各地域の要望に応じて指導者を派遣する事業や、各小学校の協力を得て学校体育館で行う児童の体力・運動機能の向上事業を実施したこと、また平成29年度に引き続き、「健康・スポーツ相談室」を実施したことなどが要因です。									(向上)
										目標達成度 (達成)

基本事業01 スポーツ機会の充実

指標	スポーツイベント・教室に参加したことがある市民割合（この1年間）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	—	16.4	14.4	→	
評価	(状況) 平成30年度は14.4%で、平成29年度及び平成27年度の16.4%より2.0ポイント減少しました。市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 (原因) 平成29年度と比較してスポーツ教室・大会件数は増加していますが、20歳から39歳までの市民割合が大きく下回っており、仕事や家庭の関係で参加できないことが要因と考えられます。									(横ばい)
										目標達成度 (中)

基本事業01 スポーツ機会の充実

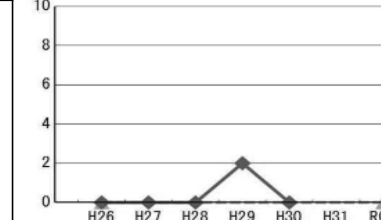
指標	スポーツ普及団体の登録会員数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人	3,898	3,539	3,556	4,900	
評価	(状況) 平成30年度は3,556人で、平成29年度より17人増加していますが、後期基準値より342人減少しており、順調ではありません。 (原因) 多賀城市民スポーツクラブ会員及び体育協会会員数が減少傾向にあります。個人スポーツ等が普及しており、団体に所属せずにスポーツをする人が増加していることが要因と考えられます。									(低下)
										目標達成度 (低)

基本事業02 社会体育施設等の施設環境の充実

指標	スポーツ施設等の利用者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	322,238	352,738	338,956	350,000	
評価	(状況) 平成30年度は338,956人で、平成29年度より13,782人減少していますが、後期基準値より16,718人増加しており、横ばいです。 (原因) 中央公園が整備されたことによる利用者の増加が要因です。平成29年度との比較では減少していますが、市民テニスコートの工事期間中の部分利用、天候不順による中央公園の利用者数の減少が主な要因です。									(横ばい)
										目標達成度 (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 社会体育施設等の施設環境の充実

指標②	スポーツ施設等の運営・管理上の不具合・支障件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき																
	成果	業務取得	下がると良い	生涯学習課	件/年	0	2	0	0	 (横ばい)																
評価	(状況) 平成30年度は0件で、平成29年度より2件減少し、後期目標を達成しています。 (原因) 施設の老朽化や設備の経年劣化による設備修繕は生じていますが、基幹設備の不具合が生じなかったことや小規模なものについては迅速に対応したことが要因と考えられます。				(件/年)  <table><caption>実績値 (件/年)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>0</td></tr><tr><td>H27</td><td>0</td></tr><tr><td>H28</td><td>0</td></tr><tr><td>H29</td><td>2</td></tr><tr><td>H30</td><td>0</td></tr><tr><td>H31</td><td>0</td></tr><tr><td>R02</td><td>0</td></tr></tbody></table>					年度	実績値	H26	0	H27	0	H28	0	H29	2	H30	0	H31	0	R02	0	 目 標 達成度
										年度	実績値															
H26	0																									
H27	0																									
H28	0																									
H29	2																									
H30	0																									
H31	0																									
R02	0																									
					 (達成)																					

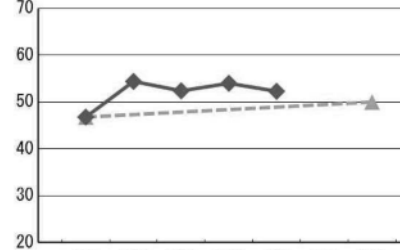
政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 05 文化財の保護と活用

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市内所在の文化財、市民	文化財が次の世代へ継承され、市民が市の歴史と文化に誇りを持っています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	市の歴史と文化に誇りを感じる市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき																
	成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	%	46.8	54	52.3	➔	 (横ばい)																
評価	(状況) 平成30年度は52.3%で、平成29年度より1.7ポイント減少していますが、後期基準値より5.5ポイント増加しています。 (原因) 平成28年度に多賀城跡などが日本遺産に認定されたこと、平成30年度に「東大寺と東北～復興を支えた人々の祈り」及びその関連イベントが行われたことが、要因と考えられます。					(%)  <table border="1"><caption>実績値の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>46.8</td></tr><tr><td>H27</td><td>54</td></tr><tr><td>H28</td><td>52.3</td></tr><tr><td>H29</td><td>52.3</td></tr><tr><td>H30</td><td>52.3</td></tr><tr><td>H31</td><td>52.3</td></tr><tr><td>R02</td><td>52.3</td></tr></tbody></table>				年度	実績値 (%)	H26	46.8	H27	54	H28	52.3	H29	52.3	H30	52.3	H31	52.3	R02	52.3	目標 達成度
						年度	実績値 (%)																			
H26	46.8																									
H27	54																									
H28	52.3																									
H29	52.3																									
H30	52.3																									
H31	52.3																									
R02	52.3																									
						 (達成)																				

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 文化財の調査・保存の推進

基本事業 02 文化財の積極的な活用促進

基本事業 03 文化財の普及啓発の推進

基本事業01 文化財の調査・保存の推進

指標 ①	文化財保護法により適正に保護された件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	文化財課	件/年	175	209	208	—	---
評価	周知の埋蔵文化財包蔵地の届出等件数及び特別史跡内現状変更申請件数				(件/年)					目 標 達成度
	(状況) 平成30年度は208件で、平成29年度より1件減少し、後期基準値より33件増加しています。 (原因) 住宅建築や宅地造成などの需要に伴い増減します。住宅建築等の需要が依然高い水準を維持していることが、要因と考えられます。									---

基本事業01 文化財の調査・保存の推進

指標 ②	特別史跡の公有化率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	%	56.7	58	58.9	60	☀ (横ばい)
評価	(状況) 平成30年度は58.9%で、平成29年度より0.9%ポイント増加していますが、横ばいです。 (原因) 特別史跡指定面積が広大であり、平成26年度より一定の予算の範囲内で毎年度計画的に公有化を進めていることが要因です。				(%)					目 標 達成度
										■ (中)

基本事業02 文化財の積極的な活用促進

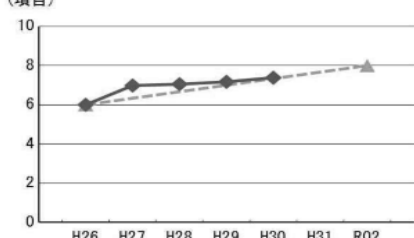
指標 ①	活用されている文化財の面積				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	m ²	287,842	309,538	307,308	303,000	☀ (向上)
評価	(状況) 平成30年度は307,308m²で、平成29年度より2,230m²減少していますが、後期基準値より19,466m²増加しています。 (原因) 平成28年度に歴史的食文化体験学習事業に伴いそば及び古代米の体験学習地を計上したこと、平成29年度に中央公園整備事業に伴い整備地が増加したことが要因です。一方、平成30年度はそばの生育環境に適さない範囲2,230m²を除外したこと、平成29年度よりも指標値が減少しています。				(m²)					目 標 達成度
										🏰 (達成)

基本事業02 文化財の積極的な活用促進

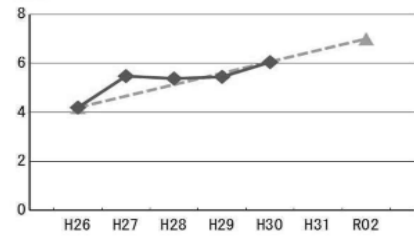
指標 ②	市内所在の文化財訪問者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	人/年	132,031	144,577	147,652	140,000	☀ (向上)
評価	(状況) 平成30年度は147,652人で、平成29年度より3,075人、後期基準値より15,621人増加しています。 (原因) 多賀城跡あやめまつりの入込数が増加傾向にあることや平成28年度に多賀城跡などが日本遺産に認定されたことによるPR効果などに加え、東北歴史博物館での「東大寺と東北～復興を支えた人々の祈り」やその関連イベント開催などが要因と考えられます。				(人/年)					目 標 達成度
										🏰 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

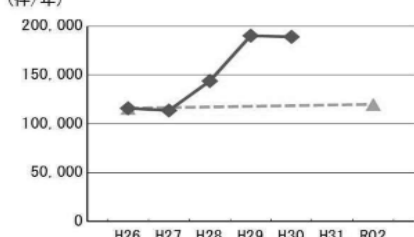
基本事業03 文化財の普及啓発の推進

指標①	市内所在文化財の平均認知項目数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	項目	6	7.17	7.38	➡	
評価	(状況) 平成30年度は7.38項目で、平成29年度より0.21項目増加しています。後期基準値より1.38項目増加していますが、横ばいです。				(項目)					☀ (横ばい)
	(原因) 平成28年度に多賀城跡などが日本遺産に認定されたことによるPR効果に加え、「東大寺と東北～復興を支えた人々の祈り」とその関連イベントの会場として使用されたことなどが要因と考えられます。一方で、多賀城跡など知名度の高い所に比べそれ以外の認知度がなかなか伸びないことが、大きな向上に繋がらない要因と考えられます。									目 標 達成度 ■■ (中)

基本事業03 文化財の普及啓発の推進

指標②	市内所在文化財の平均訪問項目数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	項目	4.2	5.45	6.05	➡	
評価	(状況) 平成30年度は6.05項目で、平成29年度より0.60項目増加しています。後期基準値より1.85項目増加していますが、横ばいです。				(項目)					☀ (横ばい)
	(原因) 平成28年度に多賀城跡などが日本遺産に認定されたことによるPR効果に加え、平成30年度は「東大寺と東北～復興を支えた人々の祈り」及びその関連イベント会場であったことが、増加の要因と考えられます。一方で多賀城跡など知名度の高い所に比べそれ以外の訪問者数がなかなか伸びないことが、大きな向上に繋がらない要因と考えられます。									目 標 達成度 ■■ (中)

基本事業03 文化財の普及啓発の推進

指標③	市内文化財への情報アクセス数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	件/年	116,000	190,279	189,087	120,000	
評価	(状況) 平成30年度は189,087件で、平成29年度より1,192件減少していますが、後期基準値より73,087件増加しており、向上しています。				(件/年)					☀ (向上)
	(原因) 平成26年以降に歴なび多賀城のダウンロード数が順調に増加していること、平成30年度は「東大寺と東北～復興を支えた人々の祈り」及びその関連イベント開催等に伴い市ホームページを適時更新していることなどが要因と考えられます。									目 標 達成度 ■■ (達成)